

第6部 きのこの部

(1) 総評《 審査日：令和5年9月29日 》

信州きのこ祭り推進協議会主催による令和5年度長野県きのこ品評会が盛大に開催されました。審査員を代表し、審査結果の報告を申し上げます。

この品評会はきのこ生産者皆様の、日頃のたゆまぬ努力の発表の場、そして栽培技術向上の場として、生産技術並びに品質向上と消費の拡大を図ることを目的に開催されています。令和5年度は千曲市信州の幸あんずホールで開催し、県下各地から出品いただきました。また品評会開催にあたり、関係機関の皆様からは多大なる御協力をいただきましたことに厚く御礼を申し上げます。

さて、本年の気象を振り返りますと6～8月にかけて日本の平均気温は1898年以降で夏として最も高くなりました。きのこにおいても影響が大きく、一定品質を保つための、温度管理や水管理等にたいへんご苦勞されたことと思います。

その中でも、本年度は、えのきたけ113点(本選 47点)、ぶなしめじ101点(本選 30点)、しいたけ・なめこ等33点(本選 18点)、合計247点(本選95点)の出品をいただきました。

審査基準に従い厳正な審査を実施した結果、農林水産大臣賞2点、林野庁長官賞3点、長野県知事賞3点、その他13点を受賞作品としました。

また、近年は生産にかかわる多くの経費が高騰するなど、きのこ産業を取り巻く状況は厳しさを増していますが、出品された作品はいずれも、技術水準の高さときのこ栽培に対する誇りが伺えるものであり、皆様方の日頃のご努力に敬意を表するところです。

生産者の皆様におかれましては、今後も安全・安心で消費者に喜ばれる美味しいきのこ生産に精進を重ねられ、長野県のきのこ産業の更なる発展のため、お力添えを賜りますようお願い申し上げます、審査報告といたします。

第6部 きのこの部

(2) えのきたけ 《 審査日:令和5年9月29日 》

①審査所見

今回の出品点数は令和4年より2点少ない113点でしたが、純白系のみならず茶系品種も数点出品されました。本選では予選を勝ち抜いた47点について審査しました。高品質のえのきたけが数多く出品されましたことに敬意を表します。

審査は、傘及び柄の形状や揃い、色、側枝の伸び、株の硬さやボリューム感、日持ち性、市場性等を評価し、総合的に優れているものを入賞に選定しました。特に、消費者の安全・安心に対する意識の高まりもあり、異物混入や病害に関しては厳しく審査を行いました。

ボリューム感や品質に優れるきのこが数多く出品され、栽培技術の高さを物語るものでしたが、一部に傘の着色、傘の小さすぎるもの、柄の伸びの不揃いなどがあり惜しくも入賞を逃したものがありました。今後とも、高品質で安全・安心なきのこ生産に努めていただきますようお願いいたします。

②入賞者名簿

えのきたけ

区 分	氏 名	市 町 村
農林水産大臣賞	池田 雅彦	中野市
林野庁長官賞	有限会社エイエイオー	中野市
長野県知事賞	松島 伸行	飯田市
信州きのこ祭り推進協議会長賞	有限会社マルヨ	中野市
長野県農業協同組合中央会長賞	濱島 章	飯田市
全国農業協同組合連合会長長野県本部長賞	掛野 剛	長和町
(一社)長野県原種センター理事長賞	石田 浩一	飯山市
(一社)長野県農村工業研究所理事長賞	倉品 慎太郎	中野市

第6部 きのこの部

(3) ぶなしめじ 《 審査日:令和5年9月29日 》

①審査所見

今回の出品点数は前回より1点少ない101点でした。本選では予選から選ばれた30点について評価しました。本年も高品質なぶなしめじが数多く出品されましたことに心より敬意を表します。

審査は審査基準に従い実施し、傘や株の揃い、ボリューム感を評価し、総合的に優れているものを入賞に選定しました。

本年は新品種「長野農工研B-4」が各産地で本格的な栽培が開始され、多数出品されました。入賞されたきのはいずれも品種特性を生かし、ボリューム感があり、収量性が高い出品物でした。惜しくも入賞を逸した出品物の中には、傘の大きさが不揃いなもの、奇形が発生しているもの、傘が水っぽいもの、収穫時期が早すぎるものが一部見られたのは残念でした。

今後とも、安全・安心で高品質なぶなしめじ生産に努めていただきますようお願いいたします。

②入賞者名簿

ぶなしめじ

区 分	氏 名	市 町 村
農林水産大臣賞	涌井 正弘	中野市
林野庁長官賞	柳原 広茂	千曲市
長野県知事賞	中村 安正	千曲市
信州きのご祭り推進協議会長賞	倉科 千浩	飯山市
長野県農業協同組合中央会長賞	北沢 秀美	千曲市
全国農業協同組合連合会長長野県本部長賞	宮澤 直樹	中野市
(一社)長野県原種センター理事長賞	鶴田 直満	小布施町
(一社)長野県農村工業研究所理事長賞	(有)I・Factory	下條村

第6部 きのこの部

(4) しいたけ・なめこ等 《 審査日:令和5年9月29日 》

①審査所見

今回は予選33点の中から本選へ18点の出品がありました。内訳はなめこ10点(足切り2点、株採り8点)、しいたけ2点(生しいたけ、乾しいたけ各1点)、くろあわびたけ3点、エリンギ、まいたけ、やまぶしたけ各1点でした。光熱水道費や資材費の高騰が続く状況下で多くの出品がありましたことに心より敬意を表します。

審査は、それぞれ品目の基準に従うとともに市場性等も考慮した総合的な視点で行い、やまぶしたけ1点、なめこ2点(株採り)、生しいたけ1点、くろあわびたけ1点の計5点を入賞としました。これらは品質や均一性に加え、市場性の点で優れており、各品目の特性を生かすための生産者のきめ細かな栽培管理に努力されていたものと推察されます。ただ猛暑が続いた夏場の影響のためか、傘の大きさや茎丈を揃えることに苦労されたと感じられる出品が多く、また入賞を逃した出品物の中にはオガなどのゴミが付着しているものが見受けられたのが残念でした。今後とも一層の栽培技術の研鑽に心がけ、安全安心で消費者に喜ばれる高品質なきのこ生産に努めていただくようお願いいたします。

②入賞者名簿

しいたけ・なめこ等

区 分	品 目	氏 名	市 町 村
林野庁長官賞	やまぶしたけ	久保産業有限会社	千曲市
長野県知事賞	なめこ	和田 慎二	中野市
信州きのこ祭り推進協議会長賞	くろあわびたけ	矢岡 太一	中野市
長野県森林組合連合会長賞	生しいたけ	赤羽 潔	伊那市
長野県特用林産振興会長賞	なめこ	山崎 孝雄	木島平村